

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻 第 19 号

第 19 週 (5月 8 日 ~ 5月 14 日)

発行年月日:平成18年(2006年) 5月 19日

発行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3050 FAX 077-537-5548

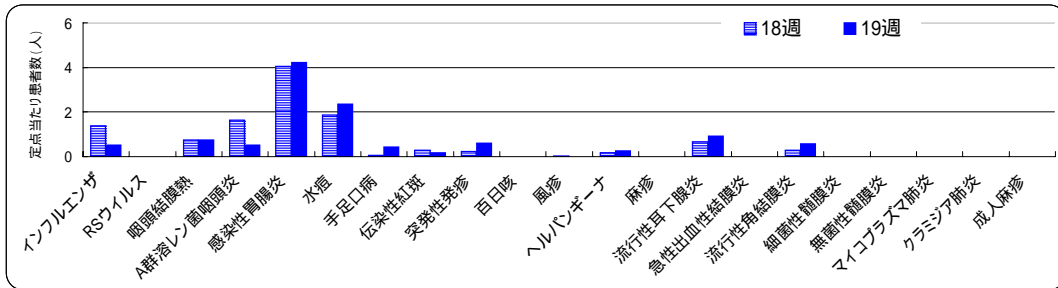
### 今週の感染症発生動向

#### 麻しんの流行に注意 - 茨城県、千葉県で急増 -

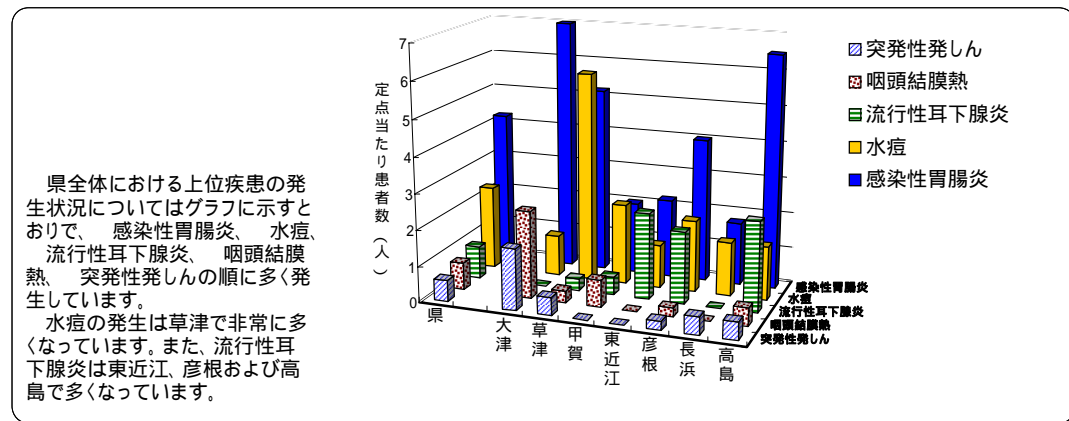
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(5月1日~5月7日)の報告数よりやや少なくなっています。増加した疾患は水痘、手足口病、突発性発しん、ヘルパンギーナ等です。減少した疾患はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、伝染性紅斑(リンゴ病)等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

今週は、全数報告感染症の届出はありませんでした。

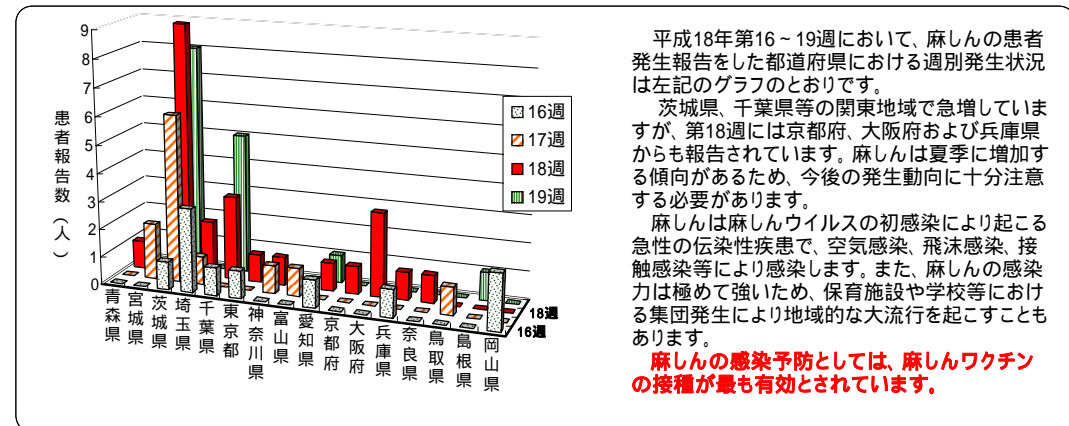
#### 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



#### 上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第19週、定点当たり患者数)



#### 麻しんの都道府県別・週別発生状況(平成18年第16~19週、4/17~5/14)



## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき、医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (19週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (19週)	全国 (19週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	細菌性赤痢	0	<sup>(*)2</sup> 2	168	<sup>(*)3</sup> 7	556
	腸チフス	0	0	35	0	50
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	2	263	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	0	27	0	40
	A型肝炎	0	1	152	1	168
	オウム病	0	0	7	1	34
	デング熱	0	0	15	1	73
	マラリア	0	0	14	0	66
	レジオネラ症	0	3	114	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	3	232	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	80	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	63	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	3	50	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	2	394	7	1,161
	ジアルジア症	0	0	25	0	81
	梅毒	0	2	199	0	555
	破傷風	0	0	22	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	26	2	65
	急性脳炎	0	1	78	2	180

- \*1: 平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。  
 \*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。  
 \*3: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第19週(5/8～5/14) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: E型肝炎 2例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 15例
二類感染症: 細菌性赤痢 5例	A型肝炎 5例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
腸チフス 2例	つつが虫病 6例	劇症型溶血性
パラチフス 2例	デング熱 1例	レンサ球菌感染症 4例
コレラ 3例	マラリア 3例	梅毒 8例
三類感染症: 腸管出血性	レジオネラ症 4例	破傷風 1例
大腸菌感染症 30例	五類感染症: アメーバ赤痢 10例	ウイルス性肝炎 1例
	ジアルジア症 2例	

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.0となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(第14週～19週、4/3～5/14)

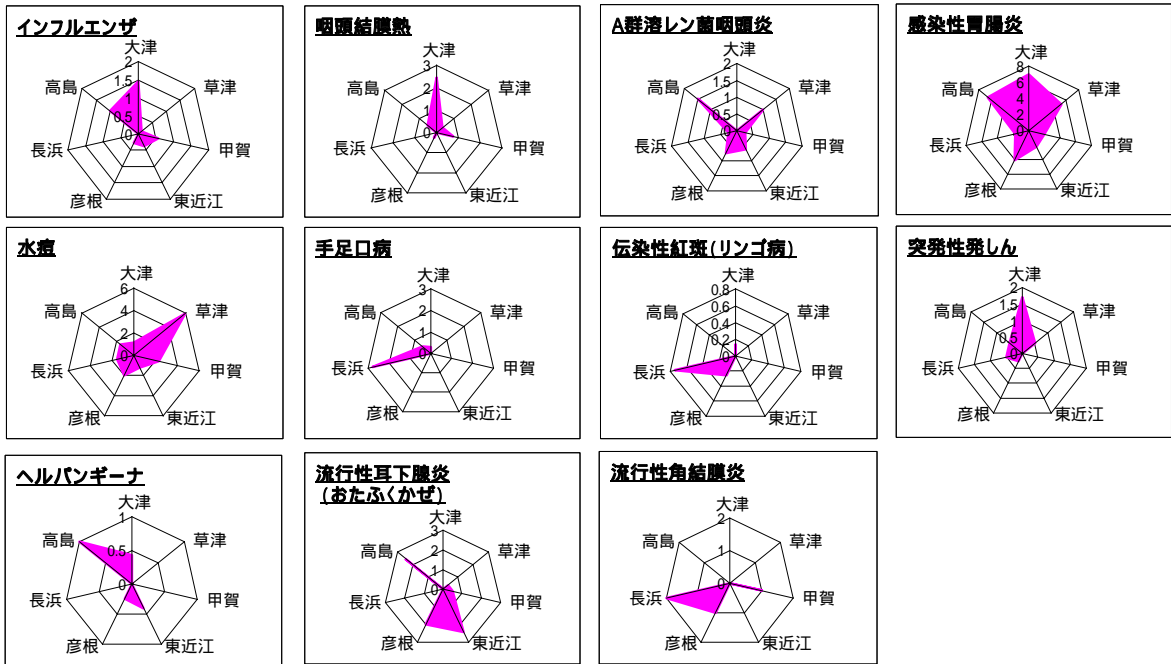
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	14週	15週	16週	17週	18週	19週	週
	(4/3～)	(4/10～)	(4/17～)	(4/24～)	(5/1～)	(5/8～)	15 16 17 18 19
インフルエンザ	0.39	0.41	0.73	1.16	1.37	0.53	
RSウイルス感染症	0	0.03	0	0.03	0	0	
咽頭結膜熱	0.19	0.53	0.88	0.84	0.75	0.75	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	1.00	1.50	1.69	1.63	0.53	
感染性胃腸炎	4.63	4.19	4.78	5.75	4.06	4.22	
水痘	1.09	1.09	1.78	1.09	1.88	2.34	
手足口病	0.13	0.13	0.13	0.03	0.06	0.44	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.22	0.19	0.22	0.09	0.28	0.16	
突発性発しん	0.44	0.38	0.38	0.44	0.22	0.59	
百日咳	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0.03	0	0.03	0	
ヘルパンギーナ	0	0.09	0.06	0	0.16	0.25	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.44	0.72	0.44	0.41	0.66	0.91	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0.57	1.00	0.14	0.29	0.57	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第19週、5/8～5/14)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.53	1.45	0.10	0.57	0.38	0.29	0	1.00	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.75	2.43	0.33	0.75	0	0.25	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	0	1.00	0.25	0.60	0.75	0.25	1.50	
感染性胃腸炎	4.22	7.00	5.17	2.00	2.20	4.00	1.75	6.50	
水痘	2.34	1.14	5.83	2.25	1.20	2.00	1.50	1.50	
手足口病	0.44	0.29	0	0	0	0	2.75	0.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.16	0.14	0	0	0	0.25	0.75	0	
突発性発しん	0.59	1.71	0.50	0	0	0.25	0.50	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.25	0.43	0	0	0.40	0.25	0	1.00	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.91	0	0.33	0.50	2.40	2.00	0	2.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.57	0	0	1.00	0	1.00	2.00	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

0 1 2 3 4 5  
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。

インフルエンザ-----ほとんどの保健所管内で先週より減少していますが、高島では微増となっています。

咽頭結膜熱-----県全体としては先週と変わりませんが、高島でかなり減少し大津でやや増加しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎-----各保健所管内とも先週より減少し、県全体としては昨年とほぼ同様の発生状況となっています。

感染性胃腸炎-----東近江、彦根および長浜において先週より増加しており、特に彦根で急増しています。

水痘-----大部分の保健所管内で先週より増加しています。特に草津で急増し、定点当たり患者数は5.83と多くなっています。

手足口病-----長浜で先週より急増し、定点当たり患者数は2.75となっています。

伝染性紅斑-----長浜で先週よりやや多くなっています。

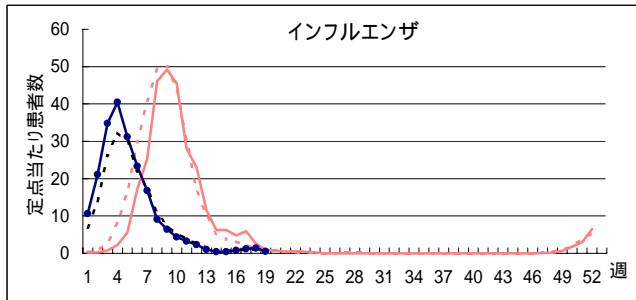
突発性発しん-----大津および草津で先週より増加しています。

ヘルパンギーナ-----大津、彦根および高島で先週よりやや多くなっていますが、県全体としてはほぼ昨年と同様の発生状況です。

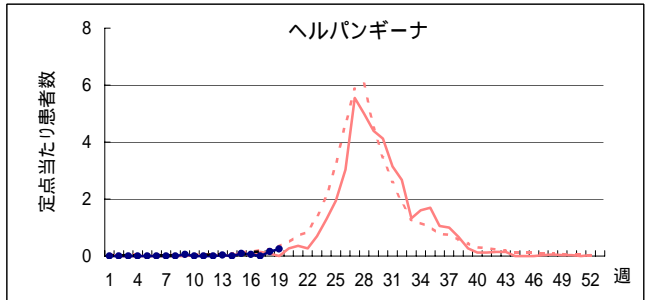
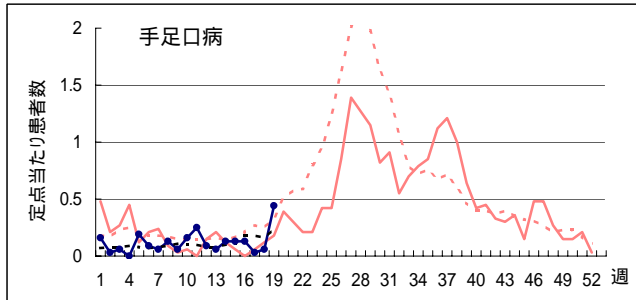
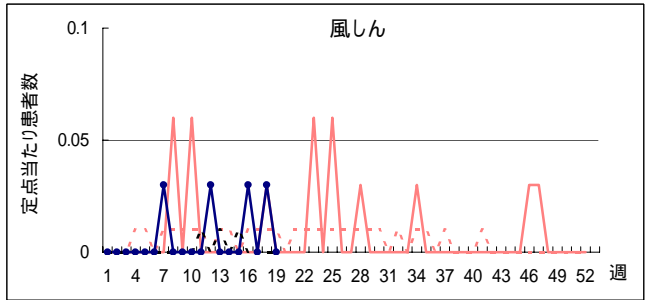
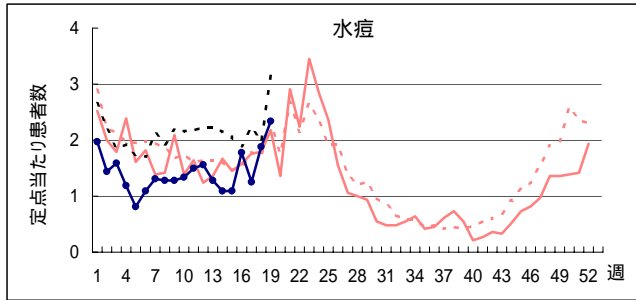
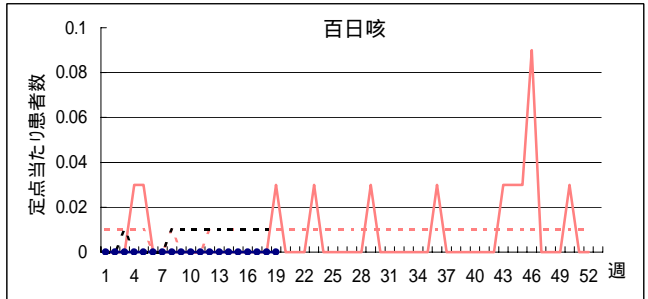
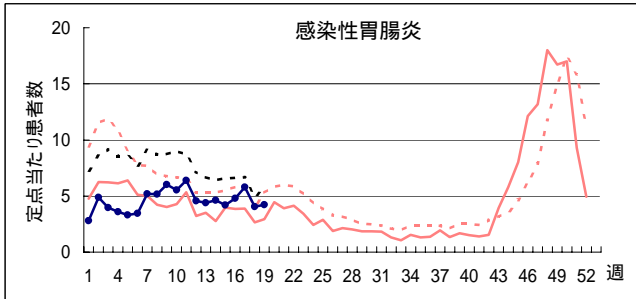
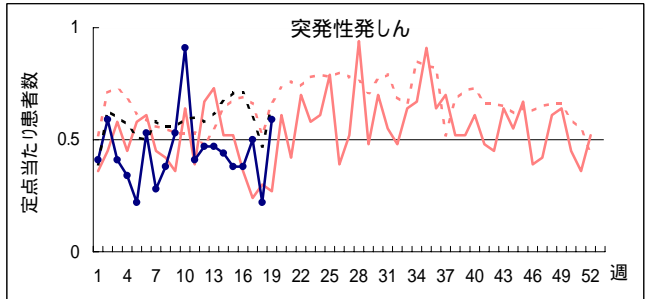
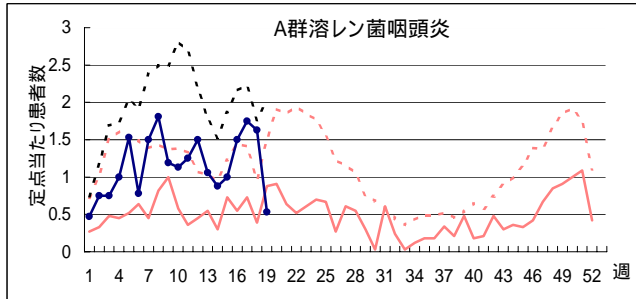
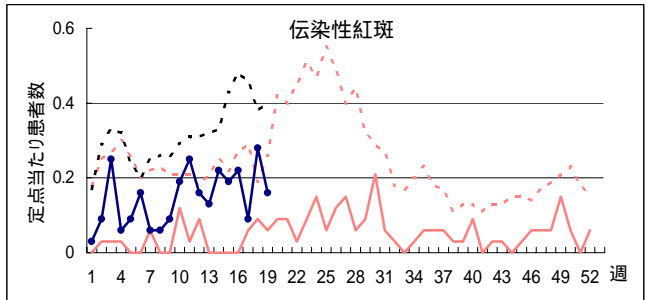
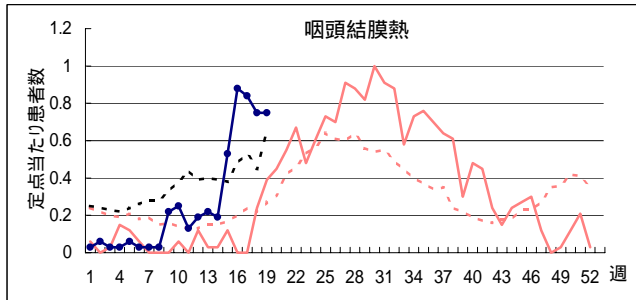
流行性耳下腺炎-----東近江、彦根および高島で先週より増加しています。

流行性角結膜炎-----甲賀、彦根および長浜から報告されています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第19週、H18.1.2～H18.5.14)



H17 〔 滋賀 (solid red line)  
 全国 (dotted red line)  
 H18 〔 滋賀 (solid blue line with dots)  
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第19週、H18.1.2～H18.5.14)

H17 { 滋賀 ————  
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●  
全国 - - - - -

